

市内公共交通の利便性向上に向けて
保谷駅へのホームドア設置はまず第一歩

無所属 田村 ひろゆき(たむら ひろゆき)

はなバスについて

問 ネーミングライツとしての副バス停名の導入、車体へのラッピング広告の検討状況は。

答 運行事業者と、費用負担や役割分担等の課題を整理している段階。収支改善に向けてより効果的な取組となるよう協議していく。

公共交通空白地域の移動支援

問 杉並区の荻窪駅南口エリアで実証実験中のグリーンスローモビリティに乗りしてきた。はなバスよりもサイズが小さいことから、住宅街の中の幅員が狭い道路でも走れ、騒音や排気ガスによる周辺への影響も小さいのは魅力だと感じた。また、地域公共交通計画ではデマンド型交通についての紹介もあった。導入を考えているのか。

答 どのような移動手段を導入するこ

とが適しているのか、今後、地域公共交通会議で検討していく。

ホームドアについて

意見 私自身もこれまで議会で要望してきたが、まずは保谷駅が整備予定の駅として選定されたとのことであれしく思う。引き続き、市内全駅へのホームドア設置に向けて西武鉄道と連携して取り組むようお願いする。



はなバス

子ども参加のまちづくりをもっと前へ！
「作左衛門の森」を次世代に継承しよう

生活者ネットワーク かとう 涼子(かとう りょうこ)

問 子ども会議では、子どもたちがまちづくりについて話し合い、その実現に自分たちも協力したいと発言していた。行動する市民を育てる子ども会議を、常設の会議体にできないか。

答 子どもの意見を市政に反映することは大切。話し合いの機会についても全庁的に取り組む。

問 田無三中の建て替え・複合化の進捗が見えてこない。田無三中エリアの将来構想を市民と共にどう描くのか。

答 学校に複合化する施設案は10月以降に示す。地域との意見交換は複数回に分け実施する。

意見 先行自治体は議論に1～2年かけている。本市も地域との合意形成に丁寧に時間をかけるべきだ。

問 訪問介護の人手不足が深刻だ。人材確保に向けた取組は。

答 暮らしヘルパーの養成に加え、復職支援研修なども検討する。

意見 復職者への支援金など、インセンティブも検討してほしい。

問 武蔵野の面影が残る屋敷林「作左衛門の森」は次世代に継承すべき貴重な緑だ。市の評価と特別緑地保全地区への指定について伺う。

答 地域の成り立ちを踏まえた、特徴ある緑。新たな指定には、既存の特別緑地保全地区の効果検証が必要。



議会INFO

今号より
全ページフルカラーで構成されます！

前号でご案内した議会だよりのリニューアル、いかがでしょうか。度重なる協議・検討の中で、次の点にこだわったリニューアルです。これからも「議会が見える、みんながつながる」議会だよりを目指してまいります。 広報委員会一同



コスト

コストの上昇なく、全ページのカラー化を行いました。



色

多様な色覚を持つ方にとって少しでも読みやすくなるよう、色の使い方にも配慮します。



文字

読みやすい、読み間違えにくいフォントである、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用しています。

議長公務 パリ2024パラリンピック競技大会の報告会に参加しました。

10月8日、パリ2024パラリンピック競技大会に卓球競技の立位監督として参加された森蘭美咲様に大会結果報告のため西東京市役所にお越しいただきました。

議長より、監督としての重圧もあった中、素晴らしい活躍であったと挨拶しました。

森蘭様からはパリ2024パラリンピック競技大会の会場の雰囲気や選手の様子、監督として苦労されたことなど様々な質問にお答えいただき、今後の目標として、パラスポーツの魅力をもっと広めていきたいとお話いただきました。



報告会の様子

議会NEWS

武蔵野大学の学生の皆さんに取材しました！

若者の声を聞く！



議会だよりのリニューアルにあたり、「若者の声を聞く」ことを目的とし、武蔵野大学の学生の皆さんにお話を伺いました。

取材当日は、法学部政治学科の一條 義治教授が担当するゼミにお伺いし、「西東京市議会に期待すること」について、ゼミ生の皆さんに考えていただきました。一條教授のゼミでは、自治体職員等を目指す学生の皆さんが、地方自治や都市政策を研究しています。2年生・3年生のゼミ生の皆さんからは、西東京市議会の特

徴や印象、議会だよりについてなど、積極的に質問や意見をいただいたのち、皆さんが思う「西東京市議会に期待すること」を1枚の紙に書いてもらいました。

地方自治を学ぶ学生の皆さんからの声を伺うことができ、大変貴重な機会となりました。

一條教授をはじめとするゼミ生の皆さん、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。



ご協力 武蔵野大学法学部政治学科 一條 義治教授(公共政策学博士)とゼミ生の皆さん